

# 東広島市の「乳幼児の教育・保育の質」向上に向けた 取り組みに関する研究 — 保育者と保護者の認知度の比較から —

井辺 和杜<sup>1</sup>・七木田 敦<sup>2</sup>

## A Study on Efforts to Improve “Quality in Early Childhood Education and Care for Infants and Young Children” in Higashihiroshima City — A Comparison of the Level of Recognition of Childcare Workers and Parents —

Kazuto IMBE<sup>1</sup>, Atsushi NANAKIDA<sup>2</sup>

**Abstract:** The purpose of this study is to clarify the extent to which the efforts related to the “Action Plan” in Higashihiroshima City, are recognized by the childcare workers engaged in the selected nursery schools, and the parents of the students at these schools, as well as the differences between them. The results revealed that efforts to “incorporate the natural environment, including plants and animals, into childcare” were highly recognized by both, childcare workers, and parents. In addition, Mann-Whitney’s U-test results showed that “childcare with awareness of the five capabilities formulated by the Hiroshima Prefectural Board of Education,” “efforts for collaboration between day-care centers and elementary schools,” “introduction of a childcare coordinator system, formulated by Higashihiroshima City” and “implementation of parent questionnaire surveys,” were the four initiatives for which childcare workers assign significantly higher value items. On the other hand, the item with significantly higher scores among parents was “Implementation of open class,” but an inadequacy was pointed out in the question setting. Furthermore, since the survey was conducted twice in one year, a within-participant comparison of childcare workers revealed no significant differences between the first and second rounds of the survey.

**Key words:** Quality in Early Childhood Education and Care, Comparison of Child Care Workers and Parents

### I. 研究の目的

本研究は広島県東広島市の「乳幼児期における教育・保育の質の向上」のため策定された「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」（以下「アクションプラン」という）の目標達成に向けた取り組みが、幼稚園・保育所・認定こども園（以下「園所」という）に勤務する保育者と利用する保護者にどの程度認知されているのか、そして両者の認知度に違いがある

のかを明らかにする研究の一環である。これによって、今後の東広島市の「アクションプラン」の方向性を検討する上での基礎資料を提供することを目的とする。

### II. 研究の方法

#### II-1. 研究対象者と方法

広島県東広島市内の園所から10ヶ所を選定し、園所に勤める幼児（3・4・5歳児）クラス担任保育者及び、利用する保護者に対する質問紙調査を Google Form で配布し回答の分析を行なった。

1 広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期  
2 広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設

## II-2. 質問紙配布のスケジュール

2021年6月中旬～7月下旬（1回目）と2021年12月中旬～2022年1月中旬（2回目）の計2回。

## II-3. 質問紙の設定項目

東広島市「アクションプラン」の目標達成に向けた取り組みが、回答者の所属（保育者用）、利用（保護者用）する園所において実施されているのかについて尋ねる質問項目を設定した。

なお、以下では保育者・保護者に対して行った質問の内容を取り上げる際、「5つの力」、「自然環境」、「公開保育」、「保育コーディネーター」、「保幼小連携」、「情報発信」、「保護者アンケート」と記載する。

## II-4. 分析方法

後述する分析を行うために、質問に対する回答は「はい」、「わからない」、「いいえ」の三件法とし、それぞれ「はい」は「1」、「わからない」は「0」、「いいえ」は「-1」の得点に換算した。

まず保育者と保護者それぞれの記述統計量を

算出した。また、保育者と保護者の対応のない2群間比較のためにMann-WhitneyのU検定を行った。そして保育者の1回目の回答、2回目の回答を対応のある参加者内比較として、Wilcoxonの符号付順位と検定を行った。なお統計解析はR4.1.3を用い、有意水準は5%とした。

## III. 結果

### III-1. 記述統計量

保育者と保護者それぞれの記述統計量（n, 平均値, 四分位範囲, 最小値, 最大値）を示したものが表1（1回目）、表2（2回目）である。そして保育者と保護者それぞれの回答をまとめたものは、表3（1回目）、表4（2回目）である。

### III-2. 保育者-保護者間比較の結果

保育者-保護者間の回答を比較するために、Mann-WhitneyのU検定を行った結果が表5（1回目）、表6（2回目）である。

保育者の回答は、「5つの力（2回目 p = 0.004）」「保育コーディネーター（1・2回目

表1. 記述統計量（1回目）（上段：保育者対象 下段：保護者対象）

	n	平均値	四分位範囲	最小値	最大値
1 広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	40	0.600	1	-1	1
2 保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	424	0.502	1	-1	1
3 公開保育を実施していますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	40	0.900	0	-1	1
4 園所に保育コーディネーターがいますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	424	0.856	0	-1	1
5 保幼小の連携のための活動を行っていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	40	-0.325	2	-1	1
6 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	424	0.530	1	-1	1
7 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	40	0.375	2	-1	1
8 保幼小の連携のための活動を行っていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	424	0.073	0	-1	1
9 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	40	0.550	1	-1	1
10 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	424	0.318	1	-1	1
11 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	40	0.350	2	-1	1
12 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	424	0.396	1	-1	1
13 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	40	0.775	0	-1	1
14 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	424	0.297	1	-1	1

表2. 記述統計量（2回目）（上段：保育者対象 下段：保護者対象）

	n	平均値	四分位範囲	最小値	最大値
1 広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	37	0.783	0	-1	1
2 保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	280	0.532	1	-1	1
3 公開保育を実施していますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	37	0.945	0	-1	1
4 園所に保育コーディネーターがいますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	280	0.892	0	-1	1
5 保幼小の連携のための活動を行っていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	37	-0.270	2	-1	1
6 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	280	0.671	1	-1	1
7 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	37	0.459	1	-1	1
8 保幼小の連携のための活動を行っていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	280	0.128	0	-1	1
9 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	37	0.594	1	-1	1
10 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	280	0.335	1	-1	1
11 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	37	0.459	1	-1	1
12 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	280	0.450	1	-1	1
13 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	37	0.486	1	-1	1
14 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？ あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	280	0.271	1	-1	1

表3. 保育者・保護者の回答（1回目）（上段：保育者対象 下段：保護者対象）（%）

	合計	はい	わからない	いいえ
1 広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	40 (100.0%)	28 (70.0%)	8 (20.0%)	4 (10.0%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	424 (100.0%)	216 (50.9%)	205 (48.3%)	3 (0.7%)
2 保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	40 (100.0%)	38 (95.0%)	0 (0.0%)	2 (5.0%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	424 (100.0%)	373 (88.0%)	41 (9.7%)	10 (2.4%)
3 公開保育を実施していますか？	40 (100.0%)	12 (30.0%)	3 (7.5%)	25 (62.5%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	424 (100.0%)	262 (61.8%)	125 (29.5%)	37 (8.7%)
4 園所に保育コーディネーターがいますか？	40 (100.0%)	26 (65.0%)	3 (7.5%)	11 (27.5%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	424 (100.0%)	44 (10.4%)	367 (86.6%)	13 (3.1%)
5 保幼小の連携のための活動を行っていますか？	40 (100.0%)	28 (70.0%)	6 (15.0%)	6 (15.0%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	424 (100.0%)	148 (34.9%)	263 (62.0%)	13 (3.1%)
6 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	40 (100.0%)	26 (65.0%)	2 (5.0%)	12 (30.0%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	424 (100.0%)	230 (54.2%)	132 (31.1%)	62 (14.6%)
7 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？	40 (100.0%)	33 (82.5%)	5 (2.5%)	2 (5.0%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	424 (100.0%)	182 (42.9%)	186 (43.9%)	56 (13.2%)

(注) 端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

表4. 保育者・保護者の回答（2回目）（上段：保育者対象 下段：保護者対象）（%）

	合計	はい	わからない	いいえ
1 広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	37 (100.0%)	30 (81.1%)	6 (16.2%)	1 (2.7%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、広島県の幼児教育の5つの力を育む環境作りがされていますか？	280 (100.0%)	154 (55.0%)	121 (43.2%)	5 (1.8%)
2 保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	37 (100.0%)	36 (97.3%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育の中に自然の環境や動植物をできるだけ取り入れるように配慮されていますか？	280 (100.0%)	253 (90.4%)	24 (8.6%)	3 (1.1%)
3 公開保育を実施していますか？	37 (100.0%)	13 (35.1%)	1 (2.7%)	23 (62.2%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、公開保育が実施されていますか？	280 (100.0%)	207 (73.9%)	54 (19.3%)	19 (6.8%)
4 園所に保育コーディネーターがいますか？	37 (100.0%)	25 (67.6%)	4 (10.8%)	8 (21.6%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保育コーディネーターがいますか？	280 (100.0%)	41 (14.6%)	234 (83.6%)	5 (1.8%)
5 保幼小の連携のための活動を行っていますか？	37 (100.0%)	26 (70.3%)	7 (18.9%)	4 (10.8%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保幼小の連携のための活動が行われていますか？	280 (100.0%)	154 (55.0%)	121 (43.2%)	5 (1.8%)
6 ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	37 (100.0%)	25 (67.6%)	4 (10.8%)	8 (21.6%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、ホームページなどで積極的な情報発信がされていますか？	280 (100.0%)	158 (56.4%)	90 (32.1%)	32 (11.4%)
7 保護者アンケートなどを実施し、その結果を保育に活かしていますか？	37 (100.0%)	25 (67.6%)	5 (13.5%)	7 (18.9%)
あなたのお子さんが通園（所）している園（所）では、保護者アンケートなどが実施され、その結果が保育に活かされていますか？	280 (100.0%)	120 (42.9%)	116 (41.4%)	44 (15.7%)

(注) 端数処理のため合計が100%にならない場合がある。

共に  $p = 0.001$ )」「保幼小連携（1・2回目共に  $p = 0.002$ )」「保護者アンケート（1・2回目 1回目  $p = 0.001$ , 2回目  $p = 0.041$ )」において、保護者の回答より有意に高値であった（園所における上記の取り組みに対する保育者の認知度は、保護者の認知度より高かった）。

一方で、保護者の回答は「公開保育（1・2

回目共に  $p = 0.001$ )」のみが保育者の回答より有意に高値であった（園所における上記の取り組みに対する保護者の認知度は、保育者の認知度より高かった）。しかし、この項目はIV-2.にて後述するように、質問項目の設定として充分ではなかった可能性がある。

表5. 保育者-保護者間（1回目）の検定結果

質問項目	保育者 (n = 40名) 中央値	保護者 (n = 424名) 中央値	p 値
5つの力	1.00	1.00	$p = 0.084$
自然環境	1.00	1.00	$p = 0.215$
公開保育	-1.00	1.00	$**p = 0.001$
保育コーディネーター	1.00	0.00	$**p = 0.001$
保幼小連携	1.00	0.00	$**p = 0.002$
情報発信	1.00	1.00	$p = 0.802$
保護者アンケート	1.00	0.00	$**p = 0.001$

Mann-Whitney の U 検定.  
\* $p < 0.05$ , \*\* $p < 0.01$

表7. 保育者の参加者内（1-2回目）比較の検定結果

質問項目	保育者 (1回目) 中央値	保育者 (2回目) 中央値	p 値
5つの力	1.00	1.00	$p = 0.064$
自然環境	1.00	1.00	$p = 0.773$
公開保育	-1.00	-1.00	$p = 0.999$
保育コーディネーター	1.00	1.00	$p = 0.174$
保幼小連携	1.00	1.00	$p = 0.536$
情報発信	1.00	1.00	$p = 0.095$
保護者アンケート	1.00	1.00	$p = 0.075$

Wilcoxon の符号付順位検定.  
\* $p < 0.05$ , \*\* $p < 0.01$

### Ⅲ-3. 保育者内比較の結果

保育者の1回目と2回目の回答を比較するために、Wilcoxon の符号付順位検定を行った結果が表7である。その際、対応のある検定を行うために、2回目に回答のなかったサンプルを取り除いた上で検定を行った。

特筆すべきは、どの項目においても有意な差は見られなかった点である。これによって、2回にわたり回答を集計した2021年6月から翌年1月までにおいては、各園所の「アクションプラン」に関する各項目の実施状況は保育者にとって十分な変化はなかったと言える。

## Ⅳ. 考 察

### Ⅳ-1. 保育者・保護者に共通する項目

まず保育者・保護者共に1・2回を通じて「はい（園所で実施している）」の回答が85%以上の高い割合を示した項目は「自然環境」のみであった。この項目が保育者・保護者に共通して高くなった要因の一つに、東広島市の施策の一環として乳幼児期に育みたい「5つの力」の視点から園所が主体的に取り組める環境づくりを支援する施策がなされたこと（東広島市 こども未来部 保育課 2022）が挙げられる。上記の施策は市内9ヶ所に限定されたものであったが、今回の研究の選定園所のうち2ヶ所が含ま

表6. 保育者-保護者（2回目）の検定結果

質問項目	保育者 (n = 37名) 中央値	保護者 (n = 280名) 中央値	p 値
5つの力	1.00	1.00	$**p = 0.004$
自然環境	1.00	1.00	$p = 0.177$
公開保育	-1.00	1.00	$**p = 0.001$
保育コーディネーター	1.00	0.00	$**p = 0.001$
保幼小連携	1.00	0.00	$**p = 0.002$
情報発信	1.00	1.00	$p = 0.544$
保護者アンケート	1.00	0.00	$*p = 0.041$

Mann-Whitney の U 検定.  
\* $p < 0.05$ , \*\* $p < 0.01$

れていた。このような東広島市の施策からは、保育環境を重視する意識がうかがえる。また本研究の回答からは、それが保育者及び保護者共に十分に実感できるものであったことが示されていたと言える。

一方で、保育者・保護者共に「わからない」、「いいえ（実施されていない）」の多い項目は見られなかった。この結果からは実際に園所にて取り組まれているのか、ということ以上に、保育者-保護者間の各項目の取り組みに関する認知度にギャップがあることが課題として示されていると言える。

### Ⅳ-2. 保育者の回答が有意に高値の項目

保育者-保護者間で有意に差のある項目を調べることで、認知度にギャップのある項目を特定することを試みた。

まず保育者の「はい」が保護者より多い（十分に保育者に園所の取り組みが周知され、実施されている）質問項目について取り上げ検討する。Mann-Whitney の U 検定を行った結果、「5つの力」、「保幼小連携」、「保育コーディネーター」、「保護者アンケート」が保護者に対し保育者の回答が有意に高値の項目であった。

「5つの力」においては、2回目のみに有意な差が見られた。ここで実施状況の間われている「5つの力」とは、広島県教育委員会が策定し、令和4年度以降第2期に位置している「「遊び学び 育つひろしまっ子！」推進プラン」の中で示された「乳幼児期に育みたい『5つの力』」のことを指す。

当概念は第1期（平成29年-令和3年）より引き続きプランの基本的な考え方として示されているものであり、具体的には「感じる・気づく力」、「うごく力」、「考える力」、「やりぬく力」、「人とかかわる力」によって構成されている。また幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園

教育・保育要領、保育所保育指針それぞれにおいて示されている「育みたい資質・能力」とも同じ方向性を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」への連続性を持ったものとして示されている。そして特に東広島市において当概念は園所が主体的に取り組む環境づくりを考える上での視点となっているなど、前述したの「自然環境」の項目とも関係するものでもある。

以上の内容を含んだ質問項目であったが、保護者への周知は保育者ほど充分ではなかったことが明らかになった。なぜならこの項目は保護者の「わからない」が全体の48.3%を示しており、園所で実施されているかに関わらず十分に保護者に「5つの力」に対する情報共有がなされていない可能性があるかと捉えられるからである。保育実践を共有するといった保護者へのアカウントビリティを果たす中でも、日々の保育がどのように「5つの力」を育むことにつながっているのかを伝えることによって、保護者への周知が可能になる取り組みと捉えられる。

次に、「保幼小連携」は1・2回目共に有意に差のある項目となった。さらに、この項目においても保護者の「わからない」が62.0%（1回目）・43.2%（2回目）を示すなど、比較的高い割合を示す結果であった。そのため「保幼小連携」は、保護者に十分に周知の至っていない取り組みであったと言える。

一方で東広島市こども未来部保育課（2021）の報告によると、東広島市では令和元年の段階で38の施設において、「アプローチカリキュラム」が編成されているように、比較的多くの園所で取り組まれている内容である。「アプローチカリキュラム」に基づいた保育実践に対する情報の共有はもちろん、保幼小の連携という目的に基づいたものであることを保護者に伝えていくことで理解の深まる取り組みであると考えられる。

そして「保育コーディネーター」も1・2回目共に有意に差のある項目となった。「保育コーディネーター」とは、東広島市独自の認定制度により「教育・保育の場、子育て支援の場、地域において、就学前の子どもや家庭が抱える課題に的確に対応し、解決に向けた取り組みを行う中心的な役割を担う人材」（東広島市 こども未来部保育課 2021；p.3）とされている。東広島市こども未来部保育課（2021）の報告によると、令和2年度では52の施設にて保育コーディネーターが配置されている。

園所においてこの制度が採用されていたとしても、保護者が知る機会が少ないということが、有意に差をつけた結果となったと言える。保護者の「わからない」の回答率は86.6%（1回目）、83.6%（2回目）であり、全回答の「わからない」の回答中で最も高い割合を占めているためである。

最後の「保護者アンケート」でも1・2回目共に有意に差のある項目となった。特にこの項目は保護者に関わりの深い取り組みである。その一方で、保育者が想定しているほど保護者にアンケートを実施していることが伝わっていなかったことが明らかになった。保育者が捉える以上に意識的な実施をしていく必要のある取り組みとして捉えられる。

#### IV-3. 保護者の回答が有意に高値の項目

続いて保護者の「はい」が保育者より多い（十分に保護者に取り組みが認知されている）質問項目を取り上げる。Mann-Whitney のU検定を行った結果、該当するのは「公開保育」の項目のみであった。

ただし、この項目については質問の設定段階に不備があった可能性を指摘する必要がある。これは「公開保育」の語の多義的な意味合いによるものである。例えば、『保育学用語辞典』（2019）では、「公開保育」の定義を端的に「園が保育実践を外部に公開する」（p.200）こととしつつ、その目的は大きく二つに分かれるとしている。一つは「地域等に広く保育を伝えて理解と協力を得ることを目指すような場合」（同上）であり、もう一つを「他園の保育者、行政関係者、研究者、関係機関の専門家等を招いて園の保育について語り合うことで、園のよさや課題を見出して保育の質を向上させることを目指す場合」（pp.200-201）である。

質問紙の結果から推測する限り、保護者の想定する「公開保育」は前者を想定するものが多く、またその地域住民の一員として、保護者自身が子どもの保育実践場面に参観するような「保育参観」の意味を含めたものとして回答している可能性がある<sup>1)</sup>。一方で保育者の多くは、対象を定義の後者にあたる「他園の保育者、行政関係者、研究者、関係機関の専門家等」としたものであったことから、勤務園所では実施されていないとする回答の多い項目になったのではないかと推測される。以上より、質問紙上の定義の不備によって、保護者に有意に「はい（実

施している)」に偏りのある結果となったのではないかと捉えられた。

#### IV-4. 保育者の回答の前後比較

Ⅲ-3及び表7より、保育者の1回目と2回目の回答に有意な差はなく、「アクションプラン」の実施率もしくは保育者への認知度の向上は見られなかった。

この結果からは、IV-3.までで示した保護者への周知に対する課題に留まらず、各園所における「アクションプラン」に関する取り組みの実施率を向上させ、保育者の認知度の向上を目指していく必要があることも示唆された。ただし、「公開保育」を除き保育者の中央値は1回目・2回目共に全て「はい（実施している）」を示す「1」であった。そして対応のある分析を行うために用いたWilcoxonの符号付順位和検定は中央値の差を検討する手法であることから、1回目・2回目の回答の間に有意な差を示すほど向上する質問項目がなかったとも言える。

そのため、唯一保育者の中央値が「いいえ（実施していない）」を示す「-1」となった「公開保育」が、今後重点的に実施を進めていくべき課題となるだろう。IV-3.で検討したように、この項目については設定上の不備が指摘されるものの、園所が主導的に行う取り組みであることから、保育者の回答は園所の「公開保育」に対する実施率を少なからず反映している可能性が高いと考えられるためである。実際、東広島市こども未来部保育課（2021）の報告からは、令和2年度に市の規定する「公開保育」の行われた場は4地域である。ここからも、東広島市においてその実施は未だ限定的であることがわかる。

以上より、保育者・保護者への周知に加え「公開保育」は今後「アクションプラン」を進めていく上での課題として示されることとなった。各園所において重点的に実施していく必要がある。

## V. まとめ

本研究の目的は、東広島市の「アクションプラン」に関する取り組みが、選定した園所に従事する保育者、及び利用する保護者にどれほど認知されているのか、そしてその差異を明らかにすることであった。

検定を行った結果、「5つの力」、「保幼小」、「保育コーディネーター」、「保護者アンケート」の

4つが特に保育者に「はい」の回答が多く、有意に高値の項目となった。一方で保護者の「はい」の回答の多い項目は、上記の質問項目上の不備の可能性を抱えた「公開保育」のみであった。このように有意差を示した項目数が、保育者の方に偏りがある点に関しては園所における保育に関わる取り組みであるために、当然保育者の方が園所の実情を把握していることが影響していると考えられる。

さらにこれらの保育者の回答が優位に高値の項目では、保護者の「わからない」の回答が多い傾向にあり、全て40%を超える結果となった。園所の実情を把握している保育者の「はい（実施している）」の回答の割合を各取り組みの実施率と見做すならば、保護者の回答はその実施がどの程度知られているのかを示していると捉えられる。そのため上記の4つの項目は、実施率が高いにも関わらず、保護者が「（実施されているか）わからない」に多く回答するなど、十分な周知に至っていないものとなる。よってこれらの項目に関しては、実施率の底上げ以上に、保護者への情報提供を優先的に行う必要があることが示された。

また保育者の前後比較においては、有意な差がついた項目はなく、2021年6月から翌年1月までの間に、実質的に実施率の向上、もしくは保育者の認知度の向上はなかったと言える。ただし、一方で各項目の中央値からは、実施率が極端に向上するほど十分にされていない取り組み自体がなかったと捉えられた。唯一「公開保育」においては東広島市こども未来部保育課（2021）の報告などを加味して検討する限り、未だ十分な実施に至っておらず、今後の「アクションプラン」推進の上での課題として示された。

最後に、本研究の限界と今後の課題について述べる。本研究では、質問紙の配布・収集の方法上、1回目・2回目の保護者の参加者内比較を行うことが困難であり、検討することができなかった。方法上の今後の課題としたい。

そして本研究では、選定した各園所が実際にどれほど「アクションプラン」に関わる取り組みを行なっているのかを検討することはできなかった。今後は実際の実施率を踏まえ、本研究の分析結果を検討する必要がある。

## 注

1) 「公開保育」について他の辞典（『改訂新版』

保育用語辞典』)では、「保護者の理解や参画を得るために行ったりする」(p.131)こともあるとの記述がある。このように保護者に保育実践を公開することもまた「公開保育」の形態の一つとして捉えられる。そのため保護者の多くは自身が参加したという実体験から、園所において「公開保育」が「実施されている」と判断したのではないかと推測される。

### 引用文献

- 東広島市 こども未来部 保育課 (2021)「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」, [https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/37/action\\_plan.pdf](https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/37/action_plan.pdf) (最終閲覧日2022年8月22日)。
- 東広島市 こども未来部 保育課 (2022)「5つの力を育む魅力ある保育環境づくり」, <https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/kodomomirai/2/hoikunositsu/32236>.

html (最終閲覧日2022年8月22日)。

広島県教育委員会事務局 (2022)「『遊び 学び 育つひろしまっ子!』推進プラン (第2期)」, <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/474506.pdf> (最終閲覧日2022年8月22日)。

背田貝公昭編 (2019)『【改訂新版】保育用語辞典』, 一藝社。

東京大学大学院教育学研究科附属発達実践政策学センター編 (2019)『保育学用語辞典』, 中央法規。

### 付 記

本研究は令和3年度「大学連携政策課題共同研究事業 行政課題解決型共同研究」に提案した「東広島市の就学前保育施設の保育の質と乳幼児の育ちに関する評価研究」の一環として、東広島市 こども未来部 保育課の協力で実施したものである。